

2006年 夏季号(No.30)

# 佐 潟 通 信

佐潟水鳥・湿地センター

## 佐潟の近況「夏のように」

8月に入り猛暑続きで、特に17日午後には湿地センター気温計が38.3度を表示しました。空は青く高く、上空を行く雲は輝いていました。そんな佐潟の夏の主役、ハスの花の盛りは例年より遅くお盆過ぎになりました。7月の長梅雨のせいかもしれませんね。他の水生植物も全般に花期が例年より10日ほど遅れて推移しているようです。絶滅危惧種のみずアオイは8月末に開花しましたが、オニバスは極わずかしが生育せず開花は9月になりそうです。8月末、にぎやかだったオオヨシキリの声はすでになく、ツバメの姿もまばらになりました。朝夕涼しくなり、日の入りが潟面に映えるようになりました。9月になると冬鳥のカモたちが飛来してきます。



## 自然・野鳥情報

### 主な確認野鳥

- 6月1日 コアジサシ初認
- 6月9日 ツバメ・バン初認
- 6月14日 クロハラアジサシ
- 6月15日 カルガモの親子連れ
- 7月7日 コチドリ
- 7月17日 チゴモズ(佐潟では初確認)
- 8月6日 キセキレイ・アオアシシギ

### 主な水生植物

- 7月7日 ハス開花
- 8月18日 みずアオイ開花
- 8月30日 サデクサ開花

6月のカルガモ親子



## 佐潟の野鳥紹介「オナガ」(尾長)

本州東部に留鳥として分布し繁殖します。頭部は黒く頸は白い。背は灰色で翼と尾羽は水色で尾が長いのが特徴です。農山村、市街地などの人里と、その近くの明るい林に棲息します。樹木の上で、昆虫や木の実を食べます。群れで行動し、鳴き声は、ゲーゲーと濁った声で鳴きます。佐潟周辺では一年中見られますが、観察頻度は多くありません。全長 37cm



スズメ目・カラス科

英名：Azure-winged Magpie

学名：*Cyanopica cyana*

## 佐潟の植物紹介「ノアザミ」



華麗な紅紫色の花が印象的です。北海道を除いた各地の山野に、もっとも普通に見られる多年草です。高さ 60～100cm になり、上部で枝分かれし、全体に白毛があります。茎につく葉は互生し、羽状に裂けて、先端はとげになっています。頭花は 4～5cm、枝の先端に直立してつきます。佐潟では南岸周遊道付近、特に下潟ではまとまって咲いています。

花期 5～8月

キク科アザミ属

学名：*Cirsium japonicum*

## センターからのお知らせ

### 「佐潟・食の植物&舟からの風景」 開催しました。

佐潟の植物を「食」の視点から観察、体験してみようと親子 10 組が参加してくれました。なかなか覚えられない草の名前や特長もなぜか愉快地理解できたと笑顔でいっぱいでした。ヨモギなどだけでなくハスの葉までてんぷらにして食べました。その後伝統的な潟の舟に乗り初夏の湖面を楽しみました。講師の狩野先生に感謝です。

#### 参加者の感想

植物の先生にいろいろなお話をしていただいたり、こどもたちの質問に答えていただいたりして、佐潟の自然を満喫しました。潟舟体験も、とっても楽しくて、ハスの葉をとっていただいて、子どもたちは大喜びでした。今度は家族全員で佐潟を訪れたいと思います。また、このようなイベントをお願いします。最後にいただいた野草のてんぷらがとってもおいしかったです！

初めてイベントに参加させていただきました。佐潟は 1 年に何度か遊びに来ますが、今回は色々な事を教えていただき、本当に良かったです。次回から違う目で佐潟を見たいと思います。草花は息子の為になったと思います。舟は夏にまた乗れる企画をお願いいたします。本当にありがとうございました。

### 「ぼくとわたしの夏休み・佐潟の昆虫だぁ！」開催しました。

白鳥など野鳥の宝庫といわれる佐潟。ここはオニバスやミズアオイなどの貴重な植物だけでなく、たくさんの昆虫が棲んでいます。子供たちに大人気のクワガタやカブトムシもいますが、きらわれているような昆虫もいます。こどもたちが夏休みに入った 7 月 23 日、親子 10 組が集まってくれました。

湿地センターを出発し広場でセスジイトトンボを追いかけて、自然生態園ではメダカも観察しました。途中ヤナギをよく見るとゴマダラカミキリやなんとノコギリクワガタもいました。元気いっぱいのこどもたちは最後にたんぼ環境地でザリガニ捕りをしました。最初昆虫を怖がる子もいましたが終わってみればみんなニコニコ顔。

共催いただいた佐潟と歩む赤塚の会の皆様、講師の三浦先生に感謝です。

### 「佐潟いきもの展」の展示

湿地センター内で佐潟に生息する昆虫や魚などを解説シートとともに 7 月 23 日～8 月 15 日の間展示しました。

「こんな魚も佐潟にいるのですか？これが虫ですか～？」などと意外と大人が目を丸くしていました。子供たちは、クワガタやカブトムシに注目が集まっていました。小さいいきものつながりから佐潟の自然を見つめていただきました。



## 「佐潟いきものカード」16種類できました。

佐潟の野鳥や植物をわかりやすく解説し情報を盛り込んだ「佐潟いきものカード」を新たに作りました。ハガキ大ですのでハガキケースなどに入れ整理すれば、自分だけのオリジナル図鑑になります。裏面は印刷していないので観察時にメモを書き込めます。今のところ他パンフレットと同様に湿地センターで持ち帰りできますので自由に活用ください。冬にはまた新たにカードを用意したいと思います。佐潟ボランティア解説員の皆様作成協力ありがとうございました。

カードを集めて佐潟のいきものをじっくり観察しよう!!



野鳥8種



植物8種

## 佐潟の地元「赤塚まつり」に協力・協賛しました。

8月27日佐潟公園で開催された赤塚まつりに協力して、延長開館するほか館内展示として「佐潟なるほどコーナー」を開設しました。

例えば

**Q** 佐潟の平均水深は3m?  
**A** 平均1m程度と浅いです。場所によっては数mものドロ深いところもあります。

など硬軟いろいろの「佐潟の?なるほど」展示を楽しんでいただけました。

赤塚まつりは、夕方から始まる「佐潟万燈籠」の風情に来訪者は見惚れていました。



佐潟万燈籠のようす

## 佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間の11月から2月の土・日は7：00から）

【休館日】月曜日（但し祝日の場合は翌日）、年末年始

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にFAXかE-mailをください。

編集 佐潟水鳥・湿地センター  
〒0-2261 新潟市赤塚5404番地1  
電話 025(264)3050 / fax025(264)3051  
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市市民局環境部環境対策課  
〒951-8550 新潟市学校町通1番町602番地1  
電話 025(228)1000(内線)2731